

【症例免除の方で認定医の同時取得を希望される場合】

症例免除の方で認定医の同時取得を希望される場合、症例の提出が必要です。

<ご提出いただく症例>

認定医更新同様、更新の前年1年間で20例もしくは直前2年間で40例以上の乳癌症例（今年の申請の場合、2025年1月～12月で20例もしくは2024年1月～2025年12月で40例）

<混合での提出について>

- 主領域にて10症例（2年間の場合は20症例）以上ある場合は混合も可。混合となる領域の症例は1症例につき1領域でのみ使用可とし、主領域と症例が重複していないことを示すために乳癌症例記録に記載とする。つまり、同一症例を、手術と薬物療法、手術と画像診断のように用いることは不可。
- 画像診断、放射線治療、薬物療法を主領域として選択した場合は、乳癌症例記録（10症例）および診療経験目録（10症例、2年間の場合は診療経験目録30症例）を提出すること。

各診療領域の詳細については以下のURLより「認定医申請のご案内（更新）2ページをご参照ください。

https://www.jbcs.gr.jp/uploads/files/shikaku%20elearning/nintei/koushin/nk_yoko2026.pdf